

2023年度 ニチキッズ郡山あさか保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月16日（火）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月14日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念の基、保育の原点である「子供の最善の利益」を念頭に、保育環境の創意工夫から、生き生きと活気のある園づくりに努めた。
子どもの発達援助	子ども一人一人の発達に合わせた環境保障の為、積極的に関係施設との連携やカウンセリング事業を活用し援助方針を職員全員で共有し対応した。又、課題点を明確にし保育理念を実現できるようPDCAサイクルに基づいて実践出来た。
保護者に対する支援	1ヶ月単位で、各クラスの目標設定や様子を、園だより、ホームページに掲載し、集団生活での子どもたちの成長をより身近に感じられるよう発信し、保護者との情報共有を図った。
保育を支える組織的基盤	職員へ平等に外部研修、内部研修の受講や、定期的な職員面談、職員会議、ミーティングを実施し保育の知識や技術の向上に努めた。次年度は個々の保育技術や習得した内容を、周知・共有する時間を設け、保育の質向上に繋げていく。

総評
前年度からの保育とは何かを全職員で見直し話し合い、子供の最善の利益の為に保育室内環境の改善をしながら保育を進めた。保育と食育の連携で、1日、1週間、1ヶ月の生活の流れが理解しやすく進めていくことで、園生活自体に子どもたちが楽しみを持って通園できるよう保育を行えた。特に、登園から降園まで職員が都度、共有できる機会が自然にできる環境作りに注力した。各クラス毎の運営については、園だより・ホームページに活動の様子を掲載し、風通しのよいクラス運営にするよう努めた。次年度、子どもファーストの環境づくりへ向けて、職員同士の知識共有、勉強会を実施しながら、“おもいっきり”楽しめる園運営をし、安心・安全な保育提供を継続していくよう努めたい。